

歴史文化学科

大学での学びを社会で活かす

～教師の道を選んだ卒業生からのメッセージ～



内海茂登(2014年度卒)
中学校社会科教員(横浜市)

私は文学部歴史文化学科で4年間学び、卒業後、中学校社会科の教員になりました。教員としての自身が改めて歴史での学びを振り返った時、“本物にふれる”ことのできる授業や活動が多かったことが、現在の自分につながっていると感じています。

机の前で文献を読んで考えるよりも、実際に歴史の現場に行くことは非常に重要です。現地足を運んでこそ初めて分かることもたくさんあります。何より実際に行ったことのある場所、見たことのある物が一つでも多い社会科の教員は、授業の中で自然と説得力のある説明ができ、子どもたちの関心も惹きつけやすくなります。また、フィールドワーク先では、その土地の食文化を堪能することも多くありました。そうした経験も社会科の授業に活かすことができています。

社会科の教員を目指す皆さんにとって、歴史文化学科はより専門的に地理学・歴史学・民俗学を学ぶことの出来る場所であり、教育学部では学ぶことのできないものを学べる魅力ある学科です。後輩の皆さんが甲南大学文学部歴史文化学科で多くのことを学び、一人でも多くの子供や地域の方に歴史文化学科で学んだことを伝えられる、教養深き素敵な社会人となられることを願っています。

東谷智教授 専門分野:日本史・近世(集合写真最前列右)

内海君は、幕末維新期の政治史がやりたいということで2年生から私のゼミに所属しました。卒業論文は鳥取藩を取り上げましたが、実際に鳥取の博物館に赴き、藩の日記の調査も行いました。まさに現地に足を運んで書き上げたと言えるでしょう。

私のゼミでは、遠足やゼミ旅行などの機会に、教科書に載っているような重要な文化財を見たり、重要な出来事の場所へ出かけたりしています。内海君が3年生の時には京都(写真)や金沢に行きました。金沢城では、石垣の積み方が、技術が進むと変化することを確認したりしました。

実際に本物を見るということが、教員としての内海君に大きな財産になっていることと思います。



文学部で
取得できる
資格について

資格一覧

日本語日本文学科

- ・中・高教員免許状(国語)
- ・司書教諭
- ・日本語教員養成課程

英語英米文学科

- ・中・高教員免許状(英語)
- ・TOEIC

社会学科

- ・中・高教員免許状(社会、公民)
- ・社会調査士

人間科学科

- ・中・高教員免許状(社会、地理歴史、公民)
- ・認定心理士
- ・博物館学芸員資格

歴史文化学科

- ・中・高教員免許状(社会・地理歴史)
- ・博物館学芸員資格
- ・GIS学術士